

高齢者  
福祉課

## 市長が長寿者を表敬訪問

100歳以上の方に敬老祝金を贈呈



本山市長から100歳のお祝い状を受け取る佐々木シマエさん(中央)と市内最高齢者の室木クマヨさん(左)【介護老人保健施設こぶしの里(東城町)】

本山耕三市長が、10月、長寿を祝福するため、市内の百歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を手渡しました。あわせて、本年度中に満百歳を迎える方(基準日/9月15日の「老人の日」)に贈られる内閣総理大臣からの「お祝い状と記念品の銀杯を手渡ししました」。

本年度の敬老祝金贈呈対象者(大正7年3月31日以前に生まれた方)は78人(男性13人・女性65人)、市内最高齢者は女性が満106歳の方、男性が満103歳の方となっています。

いちばん  
づくり課

## 東城地域と高野地域の移住者増に期待

移住定住コンシェルジュ2人を任命



寺元企画振興部長(左)から任命を受ける柳原さん(中央)と藤原さん(右)

市は、10月1日付で定住支援員(移住定住コンシェルジュ)に、藤原富雄さんと柳原明(あき)さんを任命しました。藤原さんは平成27年10月から2年間、東城地域を担当する定住支援員として活動し、引き続き東城地域の移住者増に向けて力を注ぎます。高野地域を担当する柳原さんは、前任の宮野幸博(みきのゆきひろ)さんからバトンを受け、空き家の掘り起こしや移住希望者に対する細やかなサポートなど、高野地域への深い造詣を生かした活躍が期待されます。

定住支援員制度は、移住を希望する方や移住して間もない方に対するきめ細やかな支援体制を整え、移住・定住につなげることを目的としています。

今回の任用により、東城・口和・高野・比和・総領の5地域に5人の定住支援員を配置。今後も市は、この取り組みを他の地域にも広げ、移住希望者が安心して移住できる環境の整備に努めていきます。

いちばん  
づくり課

## 気軽に参加できる「中結びイベント」が好評

しょうばら縁結び事業



みんなでトッピングしたピザ

6月24日、7月29日、9月30日の3日間、中結びイベント「土曜の夜に恋が始まる」を開催しました。

市内のしょうばら縁結び協力店を会場に開催するこのイベントは、人数が通常のイベントよりも少なく、設定時間も短いことから、気軽に参加できます。

9月30日は、西本町のHOME SPRINGでおおむね35〜45歳を対象に開催し、男女各6人が参加。初めの方は緊張の面持ちでしたが、ピザのトッピングなどの共同作業で表情も和らいでいました。食事を取りながら、参加者一人一人がカードを選び、カードに書いてある話題で盛り上がりつつあるうちに、お互いに心がほぐれ、より相手を知りきつ

### 今後の中結びイベント

かけにもなった様子でした。参加者からは「二人一人と落ち着いて話ができて、参加者が同世代ということもあり楽しく参加できた」と好評で、中結びイベントのニーズの高さがうかがえました。この3日間で4組がマッチングし、今後の展開が期待されます。しょうばら縁結びは、引き続き出会いの場を設定し、独身者の縁を結ぶ後押しをしていきます。

①開催日 11月18日(土)

対象 おおむね25〜35歳

申込締切 11月8日(水)

②開催日 1月20日(土)

対象 おおむね30〜40歳

申込締切 1月10日(水)

③開催日 3月17日(土)

対象 おおむね35〜45歳

申込締切 3月7日(水)

※参加者は抽選で決定します。

※会場は参加者のみにお知らせします。

※詳しくは、しょうばら縁結びホームページ(<http://www.shobara-enmusubi.jp>)をご覧ください。

**商工 観光課** **花と緑のまち庄原をPR**  
庄原さとやまガーデンフェスティバル 2017



石原和幸さん(右)のブーケパフォーマンス

10月7日から9日の3日間、国営備北丘陵公園を会場に庄原観光いちばん協議会が「庄原さとやまガーデンフェスティバル2017」を開催しました。このイベントは、庄原市の花と緑の観光資源の魅力発信や認知度向上、中国やまなみ街道沿線観光施設と連携し広域周遊の促進を図ることを目的とし、3日間で市内外から約2万8千人が来場しました。

イベントでは、ミニガーデンの作品がずらりと並ぶ「山陰・山陽ガーデンコンテスト」で、プロの造園業者や一般の団体・個人から全15作品が展覧されました。その他、庄原市ふるさと大使であり世界的ガーデナーの石原和幸さんによるブーケパフォーマンスや植物を暮らしに活用する各種講座、ガーデンング関連用品の販売などで会場はにぎわいました。



ガーデンコンテスト出品作品がずらり



石原和幸さんによるコンテスト作品の講評



ガーデンワークショップ

**生涯 学習課** **大舞台での活躍にエール**  
全国大会等出場者壮行式



出席者で記念撮影

広島県代表として全国大会へ出場する選手の壮行式が10月5日に市役所本庁舎で行われ、多くの関係者や家族が出場者を激励しました。

壮行式では米村公男副市長と堀井秀昭庄原市議会議長が激励のあいさつを行い、牧原明人教育長から出場者に祝金と花束が贈呈されました。

また、出場者を代表して、「第26回日整全国少年柔道大会」に出場する三河内陸至さんが決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

出場者は次のとおりです。

- 国民体育大会**
- 10月8日、9日・愛媛県松山市
  - ソフトテニス 少年男子
  - なぎなた 成年女子
  - 福田さつき(春田町)
  - 足立 朱穂(川北町)

- 日整全国少年柔道大会**
- 10月8日・東京都文京区
  - 柔道(団体)
  - 三河内陸至(永末小5年)
- 全日本杖道大会**
- 10月8日・東京都足立区
  - 杖道(七段の部)
  - 小林 利吉(西本町)
  - 杖道(三段の部)
  - 河原里香子(板橋町)
- 全国障害者スポーツ大会(愛顔つなぐえひめ大会)**
- 10月28日、30日・愛媛県松山市
  - 陸上競技
  - ソフトボール投、立幅跳
  - 永谷 拓海(庄原特別支援学校1年)
  - ソフトボール投、100m
  - 田原 翔太(庄原特別支援学校3年)
  - ジャベリックスロー、砲丸投
  - 上岡 正恵(口和町)

**商工 観光課** **吉野川で本場のラフティングを体験**  
ラフティングのインストラクター養成講座を開始



インストラクターの説明を受けラフティング体験

市は、体験型修学旅行の体験プログラムの一つとして、本年度からラフティング体験メニューの整備に取り組んでいます。ラフティングとは特殊なゴムボートを使って川を下るアウトドアスポーツです。本年度、西城川をフィールドにしたラフティング体験メニューを整備するため、インストラクターの養成を開始しました。

第1回の講座は、9月30日、ラフティングが盛んな吉野川(高知県)で現地視察を実施しました。当日は受講生22人が参加し、現地のインストラクターからボートのこぎ方や安全対策などの説明を受けて川にこぎ出しました。参加者のほとんどがラフティング初体験でしたが、ガイドの指導の下、力を合わせて激流を乗り越えるなど川下りを楽しんでいました。

参加者からは「最初はどんなものか分からなかったが、やってみると楽しかった」「庄原でもこんな体験ができれば子どもたちもきつと喜ぶ」など、インストラクターへの第一歩として手応えを感じた様子でした。

市は、11月11日・12日・18日、19日にラフティングの基礎的な知識などを学ぶ講座を実施します。新たな受講生も募集していますので、ぜひご参加ください。

**講座申し込み・問い合わせ**  
(二社) 庄原市観光協会  
☎0824・75・0173

**商工 観光課** **民泊の意義を学ぶ**  
民泊講習会



熱心に講習を受ける参加者

市は昨年度から、民泊(生活体験ホームステイ)による体験型修学旅行の受け入れに取り組んでいます。この民泊について、さらなる普及と民泊受け入れ家庭のスキルアップを図るため、10月4日、民泊講習会を実施しました。

講習会では、㈱体験教育企画の藤澤安良さんが、民泊の理念や意義、民泊を受け入れるに当たってのポイントなどを解説しました。

当日は民泊受け入れ家庭を中心に約30人の参加者があり、民泊の受け入れ方などについて熱心に聞き入っていました。

市は1月10日、11日に、神奈川県の高校生の体験型修学旅行受け入れを予定しています。新規の民泊受け入れ家庭も随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

**問い合わせ**  
庄原市さとやま体験交流協議会事務局  
(二社) 庄原市観光協会  
☎0824・75・0173

**生涯 学習課** **生涯スポーツ社会実現に向けて初の取り組み**  
障害者スポーツ体験会



フライングディスクを楽しむ参加者

10月9日の体育の日にあわせ、初めてとなる「庄原市障害者スポーツ体験会」を庄原市北公園で開催しました。

当日は26人が参加してフライングディスク(アキュラシー、ディスタンス)を試合形式で行い、爽やかな汗を流しながら交流を深めていました。

また、庄原市身体障害者連合会、庄原市スポーツ推進委員協議会のほか、ボランティアの方がスタッフとして協力し、体験会を盛り上げました。

今後も体験会を通してさまざまな種目を紹介し、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。